

- ① 事前アンケートの結果について
- ② **参加者の問題意識共有**
- ③ 最近のトピック（各省報道発表資料等）
- ④ 物流改正法質疑応答紹介
- ⑤ 物流効率化事例紹介
- ⑥ 参考資料

商慣行の見直し

トラック運送事業者の皆さんから

- ・多重下請けの現状打破。
- ・**どの主力商品を運んでいる会社が一番苦戦を強いられているかが知りたい。**

元請トラック運送事業者の皆さんから

- ・物流効率化の為に、**発荷主がCLOを中心に商慣習の改革にどのように取り組むか**
- ・ルール遵守した者が損をしない対策だが、具体的に思い浮かばない。

利用運送事業者の皆さんから

- ・端的な規制の強化・緩和や、理解・協力の要請だけでなく、**きちんと深掘りして原因や要因を深く認識して頂きたい。**

倉庫業者の皆さんから

- ・荷主企業は依頼すれば後は輸送と倉庫でやってくれるという認識に見える。1C/S運ぶのに運送会社と倉庫会社でどれだけの人数が関わってるか分かってない。物流知識に乏しい。
- ・**荷主企業に向けてどのような活動をしているのか。また、その反応はどうか。**

発荷主の皆さんから

- ・商社・卸売業の責任を自覚し、**商社・卸売業にも物流効率化の責任を負わせるような施策を求める。**

その他の皆さんから

経費削減策、荷主規制、消費者の意識変容。

- 当社は管理部門として、**現場の活動以外にも運送事業者などと直接面談、ヒアリングを順次行っています**が、やはり「これまでの関係があり、関係性を壊しそうで本来希望する値上げは荷主に言いづらい」との話が大勢を占めています。**拠点によっては、運送会社面談から「実は・・・」「できれば・・・」との本音が聞き取れ、その場合は主観的な市場価格（運賃）と比較するなど、管理部門として値上げの指示を行っています。結果、運送事業者から感謝の言葉をもらえております。**
- 企業によっては、やるべきこと、必要なことではあるものの、社内的には難しい立ち位置であることも想像します。**当社の社内意識は、周知等々を行うことで随分と変わり、経営層の理解も進んできました。**
- **進まない荷主企業に関しては、一定レベル以上の管理職、経営層を対象に、説明会などを直接的に招待することも必要だ**と思います。
- そうすることで、**見えてくる理想と現実もある、そこからの打開策、場合によっては軌道修正をするなど、スピード感も変わってくるのでは**と思います。

事前にいただいた問題意識等

運賃・料金、輸送コスト

トラック事業者の皆さんから

- ・適正運賃の収受。そもそもなんでも運んでいる会社もおそらく、**仕方なくその運賃が適正でない商品を運んでいる**と思います。

利用運送事業者の皆さん

- ・**標準運賃が実勢料金と乖離しており、交渉の材料にならない。何を参照し設定されたのか**を知りたい。
- ・今後、新たに施行される新法の適正原価の居所

発荷主の皆さんから

- ・特に運賃の値上げに関してが問題だとおもっております。
- ・国や県から頂いている仕事が多く、**運賃値上げに関しては出来る範囲で対応させて頂いていますが、元々の国や県から出ている輸送予算が非常に少なく、また値段も上がっていないので、輸送だけ見ればかなり赤字状態**となっております。

人手不足について

発荷主の皆さんから

労働力不足の深刻化（特に若年ドライバー離れは顕著、2024年問題）

モーダルシフトについて

利用運送事業者の皆さんから

緊急施策で鉄道輸送や内航輸送を倍増等と言った話が在ったが、**具体的にどう倍増させる計画なのか**聞きたい。

発荷主の皆さんから

物流拠点の最適配置やモーダルシフトの推進等も解決策となりえると考えます。"

法規制等について

発荷主の皆さんから

拘束時間短縮、適切な値上げ受け入れ。

- ① **着荷主への責任者の文書化(明文化)罰則規定。**
- ② **発荷主への責任者の文書化(明文化)罰則規定。**
- ③ **待機時間が常習的に生じている発荷主、着荷主企業への現場報告義務化**
- ④ **運転手さんへ待機時間が何分以上はトラックGメンに通報できるとの認知度をあげる活動。(広報活動)**
- ⑤ **物流費3億円以上の発荷主、着荷主に対して報告義務付け。(チェックシート作成)**